

## 地域防災訓練に参加して

私は昨年8月28日、石川台中学校で行われた地域防災訓練に参加しました。

訓練では、消火訓練、応急手当、スタンドパイプの設置を行いました。消火訓練、応急手当は他の防災訓練や学校でも習ったことがあったので、やり方はよく覚えていましたがスタンドパイプの設置は初めて挑戦したので、良い経験になりました。石川台中学校でも毎年色々な訓練をしており、上級生は下級生にやり方を教えるようになっています。今回私は、災害用電話の設置を担当しました。そこであまり意識していなかった防災について深く考えることができました。例えば、いつも連絡手段で使っている電話は、災害直後家族と連絡をとろうとしても回線がパンクして使えなくなってしまいます。そのため、災害が起きた場合の避難場所などを日頃から確認しておく必要があります。他にも、非常持ち出し袋のある場所、中身の確認を家族する必要があります。

このように私たちが日頃からできる災害への対策はたくさんあります。万が一、災害が起きた時、自分がいつどこで何をしているかは誰にも分かりません。そんな時、慌てず冷静に適切な行動をするために地域防災訓練などに参加して何度も練習しておくことはとても大切だと思います。

(石川台中学校2年 伊藤綾那)

## 笹丸は今年創立90周年

笹丸自治会は今年創立90周年を迎えます。雪谷地区9自治会では面積人口とも格段に小さい自治会ですが、昭和2年(1927)11月創立の二番目に古い自治会です。創立記念事業について昔のことは分かりませんが、ここ20年間では二度しました。平成15年に創立75周年事業として『笹丸』(笹丸自治会史)と名付けた小冊子を刊行しました。自治会創設期から住居表示が施行された頃まで約半世紀間の笹丸の変遷を、古くから住む人々の話も交えてまとめたものです。冊子は笹丸自治会の全所帯に配布するとともに、区のすべての特別出張所と図書館ならびに調布地区の小中学校と自治会に寄贈しました。この冊子づくりは、東京の下町深川生まれの私をして笹丸を第二の故郷と実感させたのでした。

平成23年には区長はじめ大田区の理解と支援、ならびに笹丸自治会員の絶大な協力で、自治会の法人化と建設資金の寄付をえて、笹丸自治会館が60年ぶりに再建されました。翌24年には創立85周年記念として、国内外で活躍されている現代美術家の堀浩哉多摩美大教授による文化談話会をしました。自治会館ができてこそその行事でした。

区切りのよい創立90周年では、地域や自治会の変遷と現状を示す写真や図版等の展示会、過去と未来を語る座談会、できれば区長を囲む会など会館を活かした行事や笹丸自治会史の増補改訂版の刊行など、身の丈に合った笹丸らしい記念事業をもらえたというのが会長を退いた私の勝手な初夢です。

(笹丸 森下輝夫)



## マイプレイス

マッチ箱をつなげたような3両編成の池上線が、石川台駅に到着しました。駅のホームには階段ではなく、乗客は線路に接する道路からゆったりとそれぞれの家路についているようです。今時、都内ではなかなか見られない光景ですが、ここが東雪谷です。私共の家もこの道を登ったところにあります。

私の家族は、夫の仕事、子育て、親の介護という理由で、結婚以来、都内、近隣の県、外国を含め度重なる引越をしました。新しい場所に移る度に、発見や楽しみも見つけてきましたが、いつも夫婦で考えていたのは、終の棲家のことでした。

たまたま東雪谷に家を探しに来たとき、このゆったりとした雰囲気が気に入り、ここを落ち着き先に決めました。家を建てる際、私共の希望は1階にオープンスペースを作ることでした。

夫は長年大学の教員をしており、自分のお弟子さんや学生さんが集まる場所が欲しかったようです。私自身は、若い頃から自分でお店をやってみたいという夢と、趣味で作りためたステンドグラスを、インテリアに組み込めたらという希望がありました。そこで、スペース部分で、土曜と日曜の昼間だけの週末カフェを開きました。仕事・子育てなどでお忙しい女性の方々や、お孫さんを連れてこられる熟年世代の方々にお立ち寄り頂きました。

これからは、記念日・お食事会等、御家族御友人と楽しくゆったりと過ごせる貸し切りスペースとしてお使い頂ければと思っております。

地域に密着した、もう一つの我家、「マイプレイス」を目指して参りたいと存じます。

(東中 カフェヨッピー 渡部誉紫子)



玄関ステンドグラス  
鳳凰

(東雪 西本頼雄)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行  
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)  
[発行日] 平成29年(2017年)新年号 1月1日(通巻第105号)発行  
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会  
[連絡先] 雪谷特別出張所  
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

[http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts\\_yukigaya/index.html](http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html)

新年あけましておめでとうございます。  
皆様にとって良い年でありますように!

編  
集  
後  
記

ふれあい  
雪谷

平成29年 1月 新年号 通巻第105号



『惠風』  
(けいふう)

「万物を成長させる  
めぐみの風をいい  
春風のことき指す」

刻字  
上池上 田上潤一さんの作品



## 民生委員は皆さんと共に

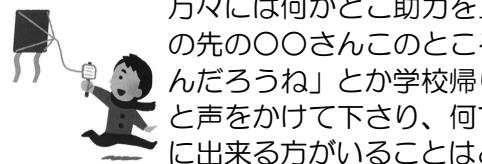


私たち雪谷地区（雪谷特別出張所管内）民生委員児童委員は33名。うち主任児童委員が2名という構成で地域の皆様の見守りをさせていただいています。

私の住んでいます南雪谷は1丁目から5丁目まで5名がそれぞれの地域を担当しています。東急池上線雪谷大塚駅の東側一帯に商店街とその周りを住宅街が囲むように出来ています。商店街はかつての庶民的な賑わいは姿を消し、大型のマンション建設に伴いスーパーマーケットにとって代わってしまいました。

私たち民生委員児童委員の関わる役目には高齢者のこと、子ども達のこと、子育てへの支援、生活困窮者、障害を抱えている方のことがあります。中でも一人暮らしの高齢者の見守りは大きな仕事となっています。

年末年始と夏の（熱中症）一斉安否確認、一人暮らし高齢者調査、理美容券の配布、寿祝い金の配布など年間行事の他に個別の関わり、見守りを続けています。少しでも多くの皆さんと顔見知りになることで情報を得ることも仕事の一つだと思います。近所の方の通報は、その内容によっては他の民生委員とも連携して事に当たります。必要に応じて公的関係機関へも繋ぎます。また南雪谷自治会にも所属をすることにより、地域の行事にも参加してこの街の事情を把握、顔をつなぐことでより良い街づくりを心掛けています。この街の事情通である商店街の



また肌寒さを感じる春から始まり、取水制限のため水を使えず空のホースで練習をした夏、そして大会が終わるともう秋の気配。七ヶ月に及んだこの訓練期間、近隣の皆様には毎週の練習でご不便をお掛けしたことわざもあったかと思います。「ご苦労様」「頑張ってね」と応援して下さった皆様の声に疲れた身体も元気づけられました。本当にありがとうございました。地域の皆様のご理解に感謝申し上げるとともに、本年もご支援いただきたくよろしくお願ひ申し

二〇一六年特に力が入ったのがポンプ操法大会です。台車に載せた可搬ポンプからホースで水を送り、火点に見立てた的に対し消火活動を行うものです。六月に多摩川清掃工場駐車場にて行われた田園調布管内の大会では、九つの分団が日頃の成果を競って戦い、我々はこの大会で前年に引き続き優勝することができました。二連覇です。更に今回は優勝分団として都大会への出場権を手にし、十月には渋谷区の東京消防学校に於いて開催された第四十六回東京都消防操法大会では第三位と喜ばしい成績を収めることができました。



## 田園調布消防団第八分団

今の時代は大家族で暮らしている人は数少なく、核家族という言葉が聞かれるようになってから久しい中、一人親世帯という言葉が多く聞かれるようになりました。このように人の生活環境もどんどん変わり、家族の形も様々となり、気になってくるのが子どもの問題です。子ども達の環境が悪くなっているではありませんが、ちょっとした変化に誰かが気づいて声をかけてあげていたらと思える不幸な事件が起きています。近所付き合いの希薄な都会生活ではありますが、自治会がその一役を担っていると思います。私たちは子どもたちを知る為に小学校、中学校の行事にはなるべく参加するように心がけ、校長先生のお話を聞き主任児童委員と共に連携して事に当たるよう活動を続けています。小学校の放課後の子ども達の居場所として児童館（南雪谷）が一役を担っています。私たちも児童館のすくすくネット会員として参加しています。時間の許す限り行事に参加したりお手伝いをしたりして、顔の見えるつながりを持つ努力をしています。3歳未満のお子さんを持つ子育て中の若いお母さんとも触れ合えるひと時です。放課後の子どもの居場所作りに、保育所への待機児童の問題も対策が進められています。先ずは子どもの幸せを優先して欲しいと思うのは私だけでしょうか。



民生委員制度は今年で  
創設100周年を迎えます！

本校は、平成22年度以降、計4年間、大田区研究推進校として、ESD研究を行いました。研究の骨子になっていたものが、地域の教育力を積極的に学校教育に取り入れる視点です。



この研究実践から生まれた環境教育、防災教育、国際理解教育、生命教育は、大森六中の特色ある教育活動として根付き、自尊感情、規範意識に優れ、奉仕の心を身につけた生徒の育成へつながってきました。

しかし、不幸にも研究の最中に毎年修学旅行で訪れている東北に大震災がありました。この国に再び光を掲げる人材を輩出するためにも、持続発展教育は必要である、このことを深く胸に刻み、大森六中はユネスコ・スクールとして実践を発展させてまいりました。

昨年は、2年間にわたる国立教育政策研究所指定校としての研究成果を発表致しました。

研究テーマは「ESDの推進及び授業改善」です。授業改善のアプローチ方法として、「思考力」、「コミュニケーション力」、そして、他者との協調、つながりの尊重、進んで参加する等の「態度」の育成を主眼としたアクティブラーニングを取り入れた指導過程、指導形態の工夫を各教科で行い、その検証を行ってきました。

このことにより、生徒の自己肯定感、そして学力が公的な各種調査の分析において格段に向上したことは、ESDの有意性を証明する上で大きな指針を得ることができました。

本校の研究実践に対して、今後とも地域の皆様より一層のご支援、ご協力を頂きますよう、お願いを申し上げます。

(大森第六中学校校長 松尾廣文)

**ESD** 地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくことを身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと。

## スポーツ都市宣言記念事業第33回大田区区民スポーツまつり 雪谷地区9自治会スポーツまつりのご報告

平成28年10月9日（日）雪谷小学校にて雪谷地区9自治会スポーツまつりが開催されました。今回のスポーツまつりは、雨天の中での開催となりましたが、小さいお子さんから年配の方まで、900名を超える方に参加して頂きました。

優勝・油の台自治会 準優勝・箕丸自治会 第3位・雪谷石川台自治会

また今回は、大田区オリンピックパラリンピック事業として、元サッカー日本女子代表の加藤與恵さんをゲストにお迎えし、ドリブルリレーやミニサッカーゲームを行っていただきました。どちらも白熱した展開となり、大いに盛り上りました。  
参加・ご協力ありがとうございました!!

